

2023年度 事業報告

2023年度（以下、当年度）は、コロナ禍の影響が落ち着き、当事業団の福祉活動においても従来通りの多くの事業を再開することができました。

しかし、福祉関連団体や子どもたちを取り巻く環境は、3年半に及ぶコロナ禍での蓄積や物価高騰などの影響で、深刻な状況が今もなお続いており、我々事業団の果たすべき役割と責任は益々大きくなってきていると言えます。これらに 대응するため、当年度も幅広い地域福祉活動に取り組んでまいりました。

表1 2023年度決算の骨子

	(単位：円)			
	2023年度決算	2023年度予算	増減額	執行率
経常収益	316,897,903	139,278,000	177,619,903	227.5%
経常費用	316,897,903	139,278,000	177,619,903	227.5%
経常増減	0	0	—	—
受取寄付金	302,731,263	101,040,000	201,691,263	299.6%

当年度の経常収益と経常費用は、いずれも3億1689万7903円で収支相償となりました。

1 事業について

福祉事業では、障害者団体や高齢者団体へ演奏家を派遣する「京都新聞おでかけ公演・障害者団体」「京都新聞おでかけ公演・高齢者団体」を5年ぶりに、「京都ゆとりスポーツの集いソフトボール大会」「京都障害者施設卓球バレー大会」「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀」を4年ぶりに再開しました。また「みんなで海釣り－障害のある人の体験講座」は4年ぶりに、従来の形 神戸新聞厚生事業団との共同主催による宮津市での1泊2日の内容で再開することができました。

表2 2023年度 開催を再開した事業

事業名	備考
京都新聞おでかけ公演・障害者団体	5年ぶり
京都新聞おでかけ公演・高齢者団体	
京都ゆとりスポーツの集いソフトボール大会	4年ぶり
京都障害者施設卓球バレー大会	
京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都	
京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀	
みんなで海釣り－障害のある人の体験講座	従来の形で4年ぶり

表3 2023年度 開催を中止した事業

(単位：円)

事業名	予算額	決算額
滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い	251,000	0
全京都車いす駅伝競走大会 ※全京都車いすミニ駅伝競走大会のみを開催	1,000,000	3,030
合計	1,251,000	3,030

一方、「滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い」は4年連続の開催中止となりました。また、「全京都車いす駅伝競走大会」は4年連続で開催を中止し、併催イベントの「全京都車いすミニ駅伝競走大会」のみを4年ぶりに再開しました。

顕彰事業では、「京都新聞福祉賞」に併設する形で前年度20年ぶりに復活させた「福祉奨励賞」をさらに軌道に乗せ、当年度は大学生が中心になって取り組むボランティアグループ2団体と、子どもたちが中心に取り組む1団体の計3団体に贈賞を行い、狙い通りの若い世代が取り組む福祉活動を応援することに繋がりました。

受賞団体を、継続して応援することも目標としており、今回の受賞団体の一つで、子どもたちが取り組む「ホワイトハンドコーラスNIPPON京都チーム」は2024年度の「京都手話フェスティバル」で公演いただく予定で、「福祉のページ」での記事掲載も含め、受賞後のサポートもはじめています。

奨学金・助成事業では、「京都新聞愛の奨学金」で家庭の事情などで苦境に立つ学生・生徒407人に総額3921万円を支給し、「障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成」は13団体に245万円を助成し、両事業ともに当年度も19年度比でほぼ倍増の助成を行いました。「福祉活動支援」は運営助成・設備助成を含めて33団体に総額500万円の助成を行い、地域の福祉団体の活動を支援しました。

新型コロナが今も影を落とす中、福祉活動における緊張感は依然として続いております。在宅高齢者のホームヘルプサービスを行う団体や事業所に助成を行う「ホームヘルプサービス活動に関する備品助成」は当年度も感染防止のための用品用具を含めて申請を受け付け、感染予防対策を中心に23団体に139万円の助成を行いました。

新型コロナの位置付けが5類に移行して1年が経過し、2024年4月から国の感染対策に対する公費の助成がなくなりました。障害のある人や高齢者などの福祉関係団体などの感染防止対策への負担が増すなど新たな課題が出てきています。当事業団でもこの状況をしっかり捉えて各種助成や奨学金事業などを遂行していく必要があると痛感しております。

当年度、ほぼ全ての助成事業、贈呈事業、奨学金事業において予算額内での支援を行いました。唯一、助成事業の「後援助成事業」だけが、若干予算を超過しました。これは、コロナ禍が落ち着き、各事業が再開されたことで申請件数が予想を上回ったことと、61件の申請のうち56件に対して手厚く助成したためです。

表4 助成事業

助成金額	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成	2,450,000	2,480,000	-30,000	98.8%	2,500,000	-50,000	98.0%
京都新聞障害のある人のレクリエーション活動を応援	500,000	330,000	170,000	151.5%	500,000	0	100.0%
ホームヘルプサービス活動に関する備品助成	1,390,607	1,488,074	-97,467	93.5%	1,390,000	607	100.0%
児童養護施設レクリエーション	1,989,700	2,059,900	-70,200	96.6%	2,230,000	-240,300	89.2%
京都新聞子育て仲間を応援	1,640,000	1,820,000	-180,000	90.1%	1,790,000	-150,000	91.6%
京都新聞子育て事業助成	835,000	820,000	15,000	101.8%	838,000	-3,000	99.6%
京都新聞福祉活動支援	5,000,000	4,980,000	20,000	100.4%	5,000,000	0	100.0%
後援助成事業	1,465,000	1,035,000	430,000	141.5%	1,380,000	85,000	106.2%
合計	15,270,307	15,012,974	257,333	101.7%	15,628,000	-357,693	97.7%

表5 贈呈事業

助成金額	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
高齢者配食サービス支援	221,000	198,500	22,500	111.3%	375,000	-154,000	58.9%
高齢者へのプレゼント	696,000	513,000	183,000	135.7%	696,000	0	100.0%
児童養護施設生徒卒業お祝い金	2,120,000	2,240,000	-120,000	94.6%	2,500,000	-380,000	84.8%
交通遺児卒業お祝い	151,000	145,000	6,000	104.1%	154,000	-3,000	98.1%
合計	3,188,000	3,096,500	91,500	103.0%	3,725,000	-537,000	85.6%

表6 奨学金事業

奨学金支給額	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
京都新聞愛の奨学金	39,210,000	41,310,000	-2,100,000	94.9%	40,800,000	-1,590,000	96.1%

2 受取寄付金について

当事業団の公益事業は、個人や団体、企業などの皆さまから寄せていただく寄付金により行っております。期待される事業を着実に実行していく上で、安定的な寄付金の確保は重要な課題であります。

寄付金には、広く福祉のための用途を限定しない「一般寄付」と寄付者が用途を指定した「指定寄付金」の2種類があります。

当年度の受取寄付金の総額は、3億273万1263円（前年度1億799万5525円）で前年度比280.3%、1億9473万5738円増、予算執行率は299.6%となりました。災害救援金を除いた総額では1億1599万2836円（同9670万6441円）で前年度比119.9%、1928万6395円増、予算執行率は115.9%となりました。これは「協賛・愛の奨学金」で個人からの高額寄付が2件（合計1500万円）あったことが大きな要因です。

寄付者の高齢化など、将来的に見れば寄付環境は厳しい課題を抱えますが2024年度10月に一新を図るホームページ、モバイルサイトにより福祉活動の情報発信を行い、寄付金の「デジタル決済」受け付けも開始することで、寄付文化の一層の浸透を図り、寄付者の層の拡大に繋げていきたいと考えています。

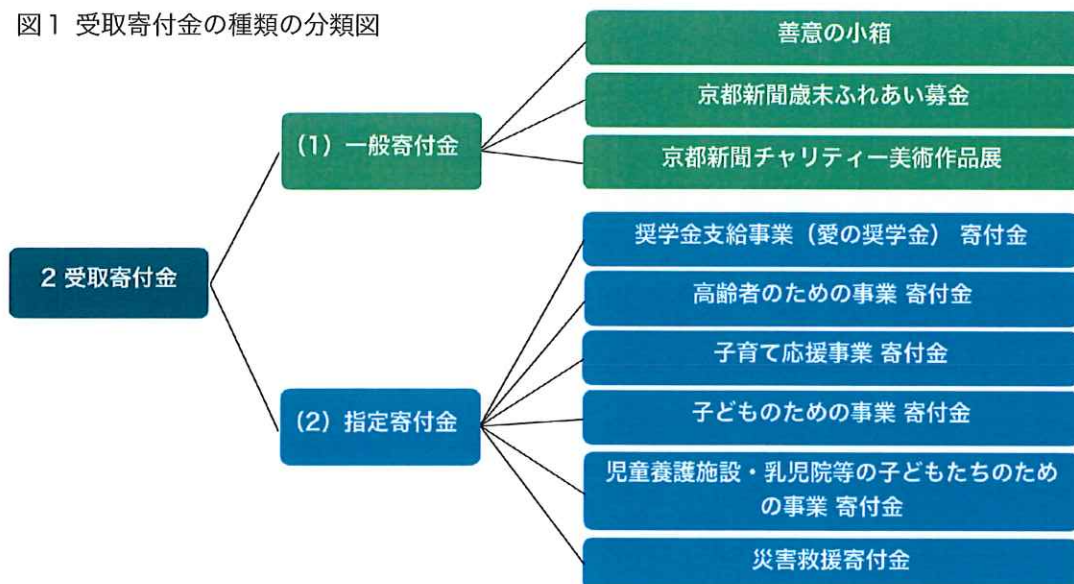
表7 2023年度 受取寄付金

(単位：円)

(単位：円)

受取寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
一般寄付金	87,179,847	84,989,081	2,190,766	102.6%	87,000,000	179,847	100.2%
指定寄付金(救援金含む)	215,551,416	23,006,444	192,544,972	936.9%	14,040,000	201,511,416	1535.3%
総 額	302,731,263	107,995,525	194,735,738	280.3%	101,040,000	201,691,263	299.6%
総 額 (救援金除く)	115,992,836	96,706,441	19,286,395	119.9%	100,040,000	15,952,836	115.9%

図1 受取寄付金の種類の分類図



(1) 一般寄付金について

一般寄付金は、「善意の小箱」「京都新聞歳末ふれあい募金」「京都新聞チャリティー美術作品展」の三つから成り、ほぼ毎年度 安定した寄付収入があり、当事業団の公益事業の根幹を支えるものです。一般寄付金全体では8717万9847円（前年度8498万9081円）で、前年度比102.6%、219万766円増となりました。予算は8700万円で執行率は100.2%です。

表8 2023年度 一般寄付金

(単位：円)

(単位：円)

(1) 一般寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
①善意の小箱	17,107,011	13,519,993	3,587,018	126.5%	14,000,000	3,107,011	122.2%
②歳末ふれあい募金	29,527,777	29,805,302	-277,525	99.1%	31,000,000	-1,472,223	95.3%
③チャリティー美術作品展	40,545,059	41,663,786	-1,118,727	97.3%	42,000,000	-1,454,941	96.5%
合 計	87,179,847	84,989,081	2,190,766	102.6%	87,000,000	179,847	100.2%

①善意の小箱

善意の小箱は、当事業団発足前の1963年から続く「草の根」寄付といえるもので、地域の皆さまの寄付金を幅広く受け付けています。当年度は200件、1710万7011円（前年度240件、1351万9993円）で、前年度から件数は減りましたが、金額は前年度比126.5%、358万7018円増となりました。予算執行率は122.2%です。

当年度は各種チャリティー行事や街頭募金なども再開され、企業や団体のまとまった寄付金が戻ってきました。創業50周年の商社オーシャン貿易から300万円、京都洛西ロータリークラブから100万円、下京区の男性の遺志による「遺贈寄付」で100万円など、大口の寄付が数件あり、数字を押し上げました。

②京都新聞歳末ふれあい募金

年末恒例の「京都新聞歳末ふれあい募金」は、11月30日（木）から12月28日（木）まで受け付け、1397件、2952万7777円（前年度1416件、2980万5302円）の温かい善意が寄せられました。前年度比では、99.1%、27万7525円減となりました。予算執行率では95.3%です。昨年に引き続き3000万円の大台には届きませんでした。企業や団体のまとまった寄付金もあり、過去10年間で見て2021年度（3109万545円）、22年度（2980万5302円）、17年度（2956万6115円）に次ぐ高い寄付額となりました。

当年度も「京都新聞全販売所から募金チラシの新聞折り込みや寄付金受け付けなどの協力」「京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫から振り込み手数料免除の協力」を引き続き受けました。

③京都新聞チャリティー美術作品展

「第41回京都新聞チャリティー美術作品展」を8月16日（水）から21日（月）までの6日間、京都高島屋グランドホール（下京区）で開きました。会場の都合で当年度も夏季開催となりました。今回も京都、滋賀を中心に全国の洋画家、日本画家、陶芸家、工芸家、彫刻家、宗教家、文化人ら862人（前年度874人）からご賛同をいただき、福祉への思いのこもった1021点（同1058点）の作品をご寄贈いただきました。前回に続いて京都新聞「福祉のページ」に連載の障害者アート「わたしの作品」原画展を併設しました。

開催日前日の15日（火）は台風7号による影響で、暴風雨の中での搬入となりましたが、会期中は天候に恵まれ、来場者は4508人（前年度4052人）で前年度比111.3%、456人増となり、入札件数も3071票（同3006票）で同102.2%、65票増の応札がありました。また、落札作品引き渡し時に開催している過年度の未入札作品「お求め会」を開催し、こちらも含め落札総額は4054万5059円（同4166万3786円）で、同97.3%、111万8727円減となりました。予算執行率は96.5%です。

開催経費は、物価高騰の影響で画材・額、配送料の値上げなどがあり、1709万853円（同1677万4429円）となり、落札総額から経費を差し引いた福祉充当額は2345万4206円（同2488万9357円）となり、同94.2%、143万5151円減となりました。

表9 2023年度 京都新聞チャリティー美術作品展

チャリティー美術作品展	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
落札総額 ①	40,545,059	41,663,786	-1,118,727	97.3%	42,000,000	-1,454,941	96.5%
開催経費 ②	17,090,853	16,774,429	316,424	101.9%	18,500,000	-1,409,147	92.4%
福祉充当額 ①-②	23,454,206	24,889,357	-1,435,151	94.2%	23,500,000	-45,794	99.8%

第41回 京都新聞
チャリティー
美術作品展

2023年8月16日(水)→21日(月)
京都高島屋7階グランドホール
午前10時～午後7時/入場無料
入場は開場30分前まで。最終日21日(月)は午後4時(閉場)
お問い合わせ→公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団 TEL:075-211-4106
京都府中京区烏丸南側上ル1-1 <https://kyokushinkyoten.jp/>
主催→公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団・京都新聞
後援→全国障がい者団体・京都府・京都市・京都市文化局・京都市文化局・京都市文化局・京都市文化局・京都市文化局
協賛→京都府文化局・京都府文化局・京都市文化局
協力→ヤマト運輸株式会社

※特別展示「福祉のページ」わたしの作品」原画展

※詳しくはウェブサイトをご覧ください。詳しくは京都新聞社会福祉事業団、京都府のホームページをご覧ください。

(2) 指定寄付金について

寄付者が用途を指定した指定寄付金として常時、5寄付金を受け付けています。5寄付金とは別に、大災害の発生時には期間を定め災害救援金を募集しますが、当年度は「トルコ・シリア地震救援金」「モロッコ地震救援金」「リビア洪水救援金」「能登半島地震救援金」の寄付を受け付けました。

災害救援金を含めた指定寄付金全体では2億1555万1416円（前年度2300万6444円）で、前年度比936.9%、1億9254万4972円の大幅増となりました。予算は1404万円で災害救援金は100万円しか計上しておらず、予算執行率は1535.3%となりました。また、災害救援金を除く総額でも2881万2989円（前年度1171万7360円）で、前年度比245.9%、1709万5629円増と大きく上回りました。

表10 2023年度 指定寄付金

(単位：円)

(単位：円)

(2) 指定寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
①奨学金支給事業寄付金	23,079,989	7,226,360	15,853,629	319.4%	9,000,000	14,079,989	256.4%
誕生日コーナー	4,947,353	5,389,643	-442,290	91.8%	5,500,000	-552,647	90.0%
協賛・愛の奨学金	17,891,206	1,446,317	16,444,889	1237.0%	3,000,000	14,891,206	596.4%
協賛・愛の奨学金(交通遺児)	241,430	390,400	-148,970	61.8%	500,000	-258,570	48.3%
②高齢者のための事業寄付金	2,783,000	2,006,000	777,000	138.7%	1,910,000	873,000	145.7%
記念日コーナー	1,373,000	1,646,000	-273,000	83.4%	1,550,000	-177,000	88.6%
協賛・高齢者事業	1,410,000	360,000	1,050,000	391.7%	360,000	1,050,000	391.7%
③子育て応援事業寄付金	1,170,000	1,150,000	20,000	101.7%	500,000	670,000	234.0%
④子どものための事業寄付金	280,000	0	280,000	—	330,000	-50,000	84.8%
⑤児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金	1,500,000	1,335,000	165,000	112.4%	1,300,000	200,000	115.4%
小 計	28,812,989	11,717,360	17,095,629	245.9%	13,040,000	15,772,989	221.0%
⑥ウクライナ避難民救援金	0	1,910,631	-1,910,631	0.0%			
⑥ア.トルコ・シリア地震救援金	1,211,340	9,378,453	-8,167,113	12.9%	1,000,000	211,340	121.1%
⑥イ.モロッコ地震救援金	195,500	0	195,500	—			
⑥ウ.リビア洪水救援金	153,500	0	153,500	—			
⑥エ.能登半島地震救援金	185,178,087	0	185,178,087	—			
小 計	186,738,427	11,289,084	175,449,343	1654.2%	1,000,000	185,738,427	18673.8%
合 計	215,551,416	23,006,444	192,544,972	936.9%	14,040,000	201,511,416	1535.3%

①奨学金支給事業寄付金

「京都新聞愛の奨学金」に充てる「誕生日おめでとう」コーナーは、誕生日に年齢に100円をかけた金額（20歳未満は2000円）を寄付してもらい、寄付者名などを京都新聞紙面で紹介しています。当年度は747件、494万7353円（前年度792件、538万9643円）で件数で45件減、寄付額で前年度比44万2290円減、91.8%となりました。

ここ数年、横ばいまたは減衰傾向が続いており、新規賛同者の発掘が急務となっています。企業、団体などへの賛同を求めるリーフレットの配布などを強化します。

「協賛・愛の奨学金」には、一般分に27件、1789万1206円（前年度23件、144万6317円）、交通遺児分に3件、24万1430円（同5件、39万400円）が寄せられました。一般分は個人寄付で左京区の女性から4月に1000万円、左京区の男性から「妻の遺志」として500万円が寄せられました。「誕生日」と「協賛」を合わせた総額では、2307万9989円（同722万6360円）で前年度比319.4%、1585万3629円増となり、予算は900万円で執行率は256.4%となりました。

※左京区の女性からは、2024年4月にも1000万円の寄付が寄せられ、来期（2024年度）の「協賛・愛の奨学金」一般分に計上します。

②高齢者のための事業寄付金

高齢者のための事業に充当する「記念日おめでとう」は、企業や団体などの創・設立周年に1000円をかけた金額を寄付してもらい、京都新聞紙面で紹介しています。当年度は24件、137万3000円（前年度28件、164万6000円）が寄せられました。

「協賛・高齢者事業」には、中京区のうなぎ店から毎月3万円計36万円に加えて、城陽市の男性から亡くなった母親が在宅介護でお世話になった感謝で「高齢者事業」へと100万円の寄付がありました。また、南丹市の女性から金婚式を記念して5万円の寄付がありました。「記念日」と「協賛」を合わせた総額は278万3000円（同200万6000円）で、前年度比138.7%、77万7000円増となりました。予算は191万円で執行率は145.7%です。

③子育て応援事業寄付金

子育てグループや支援団体に助成する「子育て仲間を応援」と子育て催事や事業を支援する「子育て事業助成」に充てる指定寄付金です。当年度も中京区の手電子部品メーカーの実質創業者の生誕記念日にあわせ、遺族から生誕116年にちなんで116万円が寄せられました。他に個人寄付1万円がありました。（前年度115万円）

予算は当初生誕記念の寄付がしばらく休止の話があり50万円としていたの
で、執行率は234.0%です。

④子どものための事業寄付金

「京都新聞お楽しみ子どもシアターin 京都」など「子どものための事業」に充てる指定寄付金です。

同事業の共催団体の京都洛北ライオンズクラブ（左京区）から、開催経費の半額相当の23万円を寄付金として受け取りました（前年度は開催がなかったため、同団体からの寄付金もありませんでした）。

他に個人寄付5万円がありました。予算は33万円で執行率は84.8%です。

※同クラブの会員数の減少により、活動の見直しが行われ、来年度から同事業への共催がなくなります。事業団単独主催により開催は継続します。

⑤児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金

「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設高校生奨学激励金」「児童養護施設卒業お祝い金」に充当する指定寄付金です。当年度は、京都ゴルフ倶楽部（北区）がレクリエーション支援のために長年開催しているチャリティゴルフ大会から110万円、「藤田めぐみ父の日コンサート」実行委員会から30万円、京都の飲食店と関連業者の有志による「京都ツバス会」から10万円の計150万円が寄せられました。（前年度133万5000円）

予算は130万円で執行率は115.4%です。

⑥災害救援寄付金

地震や台風被害などによって大きな被害が発生した場合に、救援金を募り、被災者に届けています。当年度は、「トルコ・シリア地震救援金」「モロッコ地震救援金」「リビア洪水救援金」「能登半島地震救援金」を受け付けました。4つの救援金の合計で1億8673万8427円の寄付金が寄せられました。前年度はウクライナ避難民救援金191万631円とトルコ・シリア地震救援金937万8453円の合計1128万9084円で、前年度比1654.2%、1億7544万9343円増となりました。

ア.トルコ・シリア地震救援金

トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする地震により甚大な被害を受けた被災者救援のため「トルコ・シリア地震救援金」を2023年2月13日（月）から5月31日（水）まで募集しました。当年度4月1日（土）から5月31日（水）までに寄せられた救援金の累計は、26件121万1340円となりました。年度を跨いだ寄付となりますが、当年度に寄せられた全額を第2次分として日本赤十字社を通じて救援活動、復興支援に役立てました。

イ.モロッコ地震救援金

北アフリカのモロッコを震源とする地震により甚大な被害を受けた被災者救援のため「モロッコ地震救援金」を9月20日（水）から11月30日（木）まで募

集しました。救援金の累計は、24件19万5500円となり、全額を日本赤十字社を通じて救援活動、復興支援に役立てました。

ウ. リビア洪水救援金

北アフリカのリビア北東部の強風と豪雨により甚大な被害を受けた被災者救援のため「リビア洪水救援金」を9月25日（月）から11月30日（木）まで募集しました。救援金の累計は、17件15万3500円となり、全額を日本赤十字社を通じて救援活動、復興支援に役立てました。

エ. 能登半島地震救援金

石川県の能登地方を震源とする地震により甚大な被害を受けた被災者救援のため「能登半島地震救援金」を2024年1月5日（金）から6月28日（金）まで募集しています。当年度1月5日（金）から3月29日（金）までに寄せられた救援金の累計は、711件1億8517万8087円となりました。年度を跨いだ寄付となりますが、当年度に寄せられた全額に当事業団の見舞金30万円を加え、第1次分（1億2726万円+見舞金30万円）と第2次分（5791万8087円）に分けて、石川県、新潟県、富山県、福井県の被害状況により按分して、各県の災害義援金配分委員会を通じて被災者に届けました。

3 新聞紙面、ホームページで福祉啓発強化

当事業団は1965年に京都新聞社が取り組むすべての社会福祉活動を集約して発足しました。現在の京都新聞ビル内に事務所を置き、福祉啓発や情報提供を重要な使命としております。週1回の京都新聞朝刊「福祉のページ」で地域福祉の現場や課題を掘り下げ、地元の福祉情報をきめ細かく紹介しています。紙面制作は、京都新聞総合研究所との協力体制のもと、京都新聞社のOB記者も含めた取材体制を組み紙面制作を行っています。コラム「暖流」は、識者や福祉関係者に執筆を依頼しています。

また、京都新聞地域版に「善意の小箱」や「誕生日おめでとう」などのコーナーを常設し、「歳末ふれあい募金」や「災害救援金」では特設コーナーを設け、寄付者の名前や寄付額などを掲載することで、寄付者を顕彰する役割を果たしております。

これら新聞紙面は、当事業団の活動になくはない存在であり、他団体にはない強みでもあります。

2024年度10月に一新する当事業団のホームページ、モバイルサイト「ともに生きる」を活用して、新聞紙面との連動をより強化し、事業団活動の情報発信や各事業の申請書類などの提供などを行い、より多くの方に福祉活動の周知、募金啓発を行ってまいります。

4 公益事業基金資産について

公益事業基金資産を取り崩し、「財産管理運用規程」第4条の「公益事業基金資産の種類と目的」に従い、各基金資産の目的事業に確実に使用しました。

表11 2023年度 公益事業基金資産 (単位:円) (単位:円)

公益事業基金資産	当年度	予算	増減	執行率	目的事業	当年度内訳
①福祉事業基金資産	4,378,223	26,076,400	-21,698,177	16.8%	公益目的事業(障害のある人のための事業、高齢者のための事業、子どものための事業、子育て応援事業、福祉活動支援事業、奨学金支給事業、福祉啓発事業、ボランティア活動支援事業、その他の福祉事業、チャリティー事業)	4,378,223
②交通災害救済基金資産	150,550	169,000	-18,450	89.1%	交通遺児卒業お祝い	150,550
					奨学金支給事業 交通遺児奨学金	0
③交通遺児奨学金支給事業基金資産	1,200,216	1,860,000	-659,784	64.5%	奨学金支給事業 交通遺児奨学金 (愛の奨学金 交通遺児の部)	1,200,216
④働く少年のための奨学金基金資産	991,712	1,800,000	-808,288	55.1%	奨学金支給事業 働く少年のための奨学金 (愛の奨学金 定時制・通信制高校生の部)	991,712
⑤児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産	7,375,265	8,262,000	-886,735	89.3%	奨学金支給事業 児童養護施設生徒奨学激励金 (愛の奨学金 児童養護施設高校生奨学激励金)	4,744,032
					児童養護施設レクリエーション	493,884
					児童養護施設卒業お祝い金	2,137,349
合計	14,095,966	38,167,400	-24,071,434	36.9%		14,095,966

※当年度 福祉事業基金=福祉事業基金資産96,246,626円-福祉事業基金資産戻入額91,868,403円=4,378,223円

※②～⑤の公益事業基金資産の元本から生じた運用益は、各資産の目的事業に従って別途使用しました。

財産管理運用規程

第4条 公益事業基金資産の種類と目的

公益事業基金資産の種類と目的は、以下のとおりとする。

(1) **福祉事業基金資産** 公益目的事業（障害のある人のための事業・高齢者のための事業・子どものための事業・子育て応援事業・福祉活動支援事業・奨学金支給事業・福祉啓発事業・ボランティア活動支援事業・その他の福祉事業・チャリティー事業）に使用する。

(2) **交通災害救済基金資産** 公益目的事業のうち「子どものための事業」の「交通遺児卒業お祝い」と「奨学金支給事業」の交通遺児奨学金に使用する。

(3) **交通遺児奨学金支給事業基金資産** 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の交通遺児奨学金に使用する。

(4) **働く少年のための奨学金基金資産** 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の働く少年のための奨学金に使用する。

(5) **児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産** 公益目的事業のうち奨学金支給事業の「児童養護施設生徒奨学激励金」「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設卒業お祝い金」に使用する。

2023年度 実施事業

1 障害のある人のための事業

(1) 障害のある人の自立支援

① 就労支援サポートセミナー シンポジウム「障害のある人の就労支援」

(2024年2月18日、京都新聞文化ホール・京都市中京区)

京都市内の企業人や福祉、教育関係者らでつくる京都市障がい者就労支援ネットワーク会議（C o C o ネット会議）の協力で、シンポジウム「障害のある人の就労支援」を2月18日（日）に開催しました。当年度は、前京都府副知事・山下晃正氏、聖護院八ッ橋総本店専務取締役・鈴鹿可奈子氏、山田木工所 代表取締役・山田正志氏にパネラーをお務めいただき、「誰もが幸せに暮らせる社会をみんなで作ろう」をテーマに障害者就労に関する府の施策や両社の取り組み、現状の課題などについて講演していただきました。第2部のグループディスカッションでは、参加者同士でグループに分かれ、それぞれの立場から就労に対する希望や悩みなどを話し合いました。当日は約80人の参加がありました。

＝事業費18万7858円、執行率56.2%／予算33万4000円

② 京都新聞おでかけ公演・障害者団体

(2024年3月3日、ひかり学園・京都市左京区／6日、社会福祉法人滋賀県障害児協会湖南ホームタウン・滋賀県守山市)

障害のある人が利用する福祉施設や作業所、団体、つどいなどを訪ね、日ごろ外出しにくい人たちに演奏会など公演(コンサート)をプレゼントする「おでかけ公演」を5年ぶりに開催しました。公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団に所属するメンバー2人によるクラシック音楽や歌謡曲など約10曲とトークのデュオ演奏会で、3月3日(日)にひかり学園、6日(水)に社会福祉法人滋賀県障害児協会湖南ホームタウンの2施設で行いました。

＝事業費17万3590円、執行率86.8%／予算20万円

③ 障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成 (2024年2～3月、助成先23～24社)

障害のある人の工賃増を目指す障害者支援事業所の取り組みを支援しています。「京都新聞福祉活動支援」と同時実施して、経済活動への助成をこの事業に一本化して効果的、効率的な支援を目指しています。当年度は20団体（前年度24団体）から申請があり、2月29日（木）の選考委員会（委員名簿38社）で13団体（同13団体、地域別の内訳は京都府5団体、京都市7団体、滋賀県1団体）に総額245万円（同248万円）を助成することを決め、3月28日（木）に京都新聞ビル会議室で贈呈式を行いました。物価高の影響などによる販売不振を打開するための新商品開発、新規分野への進出、生産性向上のための設備整備などに助成しました。

＝事業費248万2120円、執行率97.8%／予算253万8000円

(2) みんなで海釣りー障害のある人の体験講座

(9月9～10日、京都府立海洋高等学校、府立青少年海洋センター マリーンピア・宮津市)

障害のある人が宮津市の日本海で海釣りを楽しみ、交流する1泊2日のレクリエーション体験講座で、9月9日（土）から10日（日）まで、神戸新聞厚生事業団との共催で4年ぶり

に実施しました。京都府・滋賀県41人、兵庫県15人の計56人の障害のある人と介助者を招待して、京都府磯釣連合会や日本釣振興会、宮津市社会福祉協議会のメンバー、海洋高校の教職員や生徒ら総勢117人にボランティアスタッフとして参加していただきました。初日は宿泊先の海洋センターで、海洋高校生による講座「海ごみについて学ぼう」や、釣りインストラクターらによる魚の釣り方や救命具の着用方法などの講習を行い、2日目は府立海洋高校の栈橋で海釣りを体験しました。

＝事業費102万8165円、執行率64.3％／予算160万円

(3) 第43回全京都障害者総合スポーツ大会

(6～10月、京都市障害者スポーツセンターなど府内各地)

京都障害者スポーツ振興会と京都府、京都市、両府市の身体障害者団体連合会、京都手をつなぐ育成会などとの共催事業で、1981年の「国際障害者年」を記念してスタートし、現在では障害のある人のための総合的なスポーツ大会になっています。6月18日(日)の総合開会式・卓球バレーを皮切りに、7競技大会を京都府内の各地で実施し、計1064人の選手が参加しました。他の競技大会の日程は、卓球＝7月16日(日)▽ボッチャ＝8月13日(日)▽水泳＝8月20日(日)▽陸上競技＝9月10日(日)▽アーチェリー＝9月17日(日)▽フライングディスク＝10月9日(祝・月)。

＝事業費85万980円(支払分担金85万円)、執行率99.9％／予算85万2000円

(4) 第39回全京都車いす駅伝競走大会・第33回全京都車いすミニ駅伝競走大会

(2024年3月17日、グリーンランドみずほ・京都府京丹波町)

丹波路を駆ける車いす駅伝と重度障害のある人らが対象の車いすミニ駅伝を9月3日(日)に府立丹波自然運動公園(京都府京丹波町)で開く予定でした。しかし、運営主体の京都府身体障害者団体連合会の準備不足が原因で、メインの第39回全京都車いす駅伝競走大会を中止とし、併催イベントの車いすミニ駅伝のみを2024年3月17日(日)にグリーンランドみずほの体育館で開催しました。当年度は経費の出資は行わず名義共催のみでの参画としました。同大会は、京都府身体障害者団体連合会、京都障害者スポーツ振興会との共催で、南丹市や京丹波町、両市町の身体障害者福祉会などと実行委員会をつくっています。

＝事業費3030円、執行率0.3％／予算100万円

(5) 天皇盃 第35回全国車いす駅伝競走大会

(2024年3月10日、国立京都国際会館前・左京区一たけびしスタジアム京都・右京区)

京都府、京都市、日本パラスポーツ協会、京都新聞などとの共催事業で、全国都府県から16チーム(前回15チーム)が参加しました。大会前日3月9日(土)には、京都市左京区のザ・プリンス京都宝ヶ池で選手、大会役員らが出席して開会式や交歓会が催されました。当日3月10日(日)は、国立京都国際会館前をスタートし、たけびしスタジアム京都(西京極総合運動公園陸上競技場)をフィニッシュとする5区間21.3kmで、熱戦が繰り広げられました。

＝事業費50万1540円(支払分担金50万円)、執行率98.3％／予算51万円

(6) 第43回京都ゆとりスポーツの集い ソフトボール大会

(5月12日、勸修寺公園グラウンド・京都市山科区)

京都府内の精神病院やクリニックで実行委員会をつくり、治療や社会復帰のための生活訓練を受ける精神障害のある人を対象にソフトボール大会を開いています。当年度は5月12日(金)に4年ぶりに開催し、3チームが参加して試合を行いました。

＝事業費15万1050円(支払分担金15万円)、執行率99.4%/予算15万2000円

(7) 障害者スポーツ事業共催

＝①～③事業費30万520円、執行率98.2%/予算30万6000円

①「第31回パラアーティスティックスイミングフェスティバル」

(10月1日、京都市障害者スポーツセンター・京都市左京区)

日本パラアーティスティックスイミング協会、京都市障害者スポーツ協会などとの共催で、障害のある人とない人が一緒に競技し、年齢も問わない水泳大会で10月1日(日)に開催しました。京都をはじめ宮城県や兵庫県など8都府県から11チーム、8～85歳の101人が出場し、24演技を披露しました。演技種目はソロ、デュエット、チーム、フリーコンビネーションの4種目でした。

＝事業費10万520円(支払分担金10万円)、執行率98.5%/予算10万2000円

②「第17回京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会」

(5月14日、京都市障害者教養文化・体育会館・京都市南区)

スポーツを通じて障害者福祉の向上を図ることを目的に、京都卓球バレー協会との共催事業として実施しています。当年度は、5月14日(日)に、4年ぶりに開催しました。府内9チームと香川県から1チームが参加し、10チームで試合を通じて交流を深めました。

＝事業費10万円(支払分担金10万円)、執行率98.0%/予算10万2000円

③「第25回ボッチャ大会」

(2024年1月13、14日、京都市障害者スポーツセンター・京都市左京区)

障害のある人の体力維持、増進と交流を深めることを目的に京都市障害者スポーツセンターなどと共催しています。当年度は1月13日(土)と14日(日)に開催しました。当日は、10代から80代の63人の参加があり、福祉事業所を利用する障害のある人や特別支援学校の生徒らがチーム戦、ペア戦、個人戦に分かれて競技し、介護者やボランティアらにお手伝いをいただきました。

＝事業費10万円(支払分担金10万円)、執行率98.0%/予算10万2000円

(8) 京都とっておきの芸術祭

(12月1～3日、日図デザイン博物館・京都市左京区)

障害のある人の芸術文化活動の可能性を切り開き、社会参加を促進するため、京都府、京都市、京都府身体障害者団体連合会などと実行委員会をつくり12月1日(金)～3日(日)に開催しました。当年度も公募で寄せられた障害のある人やグループの絵画や陶芸、写真、書、俳句、川柳、工芸の7部門、758作品(前年度769作品)の展示のほか、さをり織り体験のワークショップや「障害者週間」啓発ポスターコンクール作品の展示などを行いました。来場者は2505人(同2073人)でした。

＝事業費20万460円(支払分担金20万円)、執行率99.7%/予算20万1000円

(9) 第19回京都手話フェスティバル

(2024年1月28日、京都新聞文化ホール・中京区)

手話の普及と発展を図るため、京都府聴覚障害者協会と共催で1月28日(日)に開き、約250人が参加しました。メインの手話スピーチコンテストは、一般の部は過去最高の14組15人、高校生の部は2組3人、子どもの部は2人が出場しました。最優秀賞には、一般の部でお互いの心を伝える手話ができるようになりたいと手話サークルで学ぶ女性が、高校生の部で介護福祉士を目指す女子生徒のペアが選ばれました。またアトラクションでは、聴覚障害のある俳優・手話パフォーマーのKAZUKIさんのパフォーマンスも披露されました。

＝事業費20万1870円(支払分担金20万円)、執行率99.4%/予算20万3000円

(10) 滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い(中止)

滋賀県内の知的障害者関係施設の利用者の文化活動として、音楽、演劇などを鑑賞してもらうことを目的に滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会の主催、当事業団の共催で実施しています。当年度も利用者の感染防止対策の確保が難しいことから中止となりました。

＝事業費0円、執行率0%/予算25万1000円

(11) 京都新聞障害のある人のレクリエーション活動を応援

(6～12月、助成先24社)

障害のある人の活動の場を広げ、余暇の充実を図るため、障害者団体や支援グループなどのレクリエーション活動に助成しています。今回で17回目となります。

従来「夏季キャンプ・レク活動を応援」として7月から9月の活動を対象に募集していましたが、コロナ禍の影響で2020年から夏季に限らず7月から12月に実施される宿泊を伴う野外活動に対象期間を広め実施しています。しかし申請は、8団体(前年度7団体)にとどまり、条件に該当する7団体に総額50万円(同33万円)を助成しました。就労支援施設利用者の2泊3日の野外活動を中心とした合宿や、障害のある子どもをもつ家族の交流を目的にした1泊2日の余暇活動などに活用されました。

＝事業費50万3206円、執行率99.4%/予算50万6000円

2 高齢者のための事業

(1) 高齢者配食サービス支援(2024年1月、助成先25社)

1人暮らしの高齢者や高齢者世帯に配食する京都府、滋賀県のボランティアのグループや団体にお米を提供し、新年に食事を届けてもらう事業で、高齢者1人当たり1食分のおこめ券(150㌔相当)を贈りました。配食活動は、高齢者の話し相手になって孤立を防ぐとともに、生活状況を見守る活動になっています。

当年度は5000食分の予算を計上していました。コロナ禍も落ち着き、活動を休止していた団体も少しずつ再開し始めましたが、申請は34団体とほぼ前年度(31団体)並みでした。京都府内1259食、京都市内800食、滋賀県内802食の計2861食、442㌔分のおこめ券(券は1㌔単位で、申請数の端数は切り上げ)を贈りました。

＝事業費24万5748円、執行率57.6%/予算42万7000円

(2) 京都新聞おでかけ公演・高齢者団体

(2024年3月23日、修徳デイサービスセンター・京都市下京区/28日、スマイル西小倉・京都府宇治市)

京都府、滋賀県内の高齢者施設や高齢者団体のつどいなどを訪ね、日ごろ外出しにくい人たちに演奏会など公演(コンサート)をプレゼントする「おでかけ公演」を5年ぶりに開催しました。公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団に所属するメンバー2人によるクラシック音楽や歌謡曲など約10曲とトークのデュオ演奏会で、3月23日(土)に修徳デイサービスセンターと、28日(木)にスマイル西小倉(公民館)の2団体で行いました。

＝事業費17万1805円、執行率85.9%/予算20万円

(3) 高齢者へのプレゼント(2024年2月、助成先26社)

特別養護老人ホームで介助用車いすが不足しているため、2008年度から京都府、滋賀県の全施設に1台ずつ贈ることを目標に実施しています。施設の開設年次や地域性などを考慮して、京都府2、京都市3、滋賀県3の計8施設に案内し、車いすは背もたれと座面の角度が調整できるティルト・リクライニング介助型とベッドからの移乗が便利な多機能介助型のどちらかを選んでもらいました。当年度は、各施設から希望があったティルト・リクライニング介助型の車いすを8台贈呈しました。贈呈した台数は、当年度を含めて292台になりました。

＝事業費69万6672円、執行率98.7%/予算70万6000円

(4) 在宅高齢者福祉サービス支援

ホームヘルプサービス活動に関する備品助成(12月、助成先26~27社)

在宅高齢者の経済的負担の軽減や福祉サービス充実を目的に、ホームヘルプサービスを行う非営利の団体や事業所に福祉用具や介護用品の購入費を助成しています。当年度も感染防止のための用具用品も含めて受け付け、23団体(前年度20団体、地域別の内訳は京都府18、京都市1、滋賀県4)に計139万607円(同148万8074円)を助成しました。介護を受ける高齢者が準備しなければならない体温計や血圧計、移乗ボードやシート、感染対策用のマスクや使い捨て手袋などの購入に活用されました。

＝事業費140万875円、執行率100.1%/予算140万円

3 子どものための事業

(1) 児童養護施設レクリエーション(9月~2024年3月、助成先28~29社)

京都府、滋賀県の児童養護施設のレクリエーション活動を支援するため、入所児童や生徒1人当たり2700円と、引率費用として1施設2万円を支給しています。当年度は全17施設に、レクリエーション活動に参加した子どもたち611人分と引率費用の計198万9700円を助成しました。活動終了後の報告書によると、施設の居住ユニットごとや年齢別の少グループでテーマパークや観光地へのおでかけや、施設内でのクリスマス会、おもちゃつきなどのイベントに活用されました。助成金には、京都ゴルフ倶楽部が9月に開いているチャリティゴルフ大会寄付金など、児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金と同事業基金資産を取り崩して充てました。

＝事業費199万5090円、執行率89.1%/予算224万円

(2) 児童養護施設生徒卒業お祝い金 (2024年3月、助成先29~30号)

中学、高校の卒業とともに、京都府、滋賀県の児童養護施設を巣立つ子どもたちを対象に「卒業お祝い金」(中学卒業2万円、高校卒業4万円)を贈呈しています。当年度は16施設の中学卒業生2人(京都府2)、高校卒業生52人(京都府13、京都市27、滋賀県12)に計212万円を贈りました。全17施設のうち1施設は対象者がいませんでした。児童養護施設の高校生は卒業とともに自立しなくてはならないケースが多く、祝い金は就職や進学のための支度費用や生活必需品の購入費などに活用されています。

＝事業費213万7349円、執行率84.7%／予算252万2000円

(3) エンゼルフェスティバル・京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都

(10月1日、京都市北文化会館・京都市北区)

子どもたちの健やかな成長を願い、「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」として京都洛北ライオンズクラブとの共催で実施している事業で、今回4年ぶりに開催しました。10月1日(日)に「影絵人形劇団むむのこ」による大型人形劇や光る影絵を上演、児童養護施設の子どもや一般の親子約350人を招待し、交流を深めてもらいました。

＝事業費45万6506円、執行率67.6%／予算67万5000円

(4) 交通遺児卒業お祝い (2024年3月)

京都府、滋賀県の小、中学、高校を卒業した交通遺児に「卒業お祝い」として図書カードを贈っています。図書カードは小学生5000円、中学生7000円、高校生1万円で、18回目の当年度は、京都府4人(小学生2、中学生1、高校生1)、京都市2人(中学生2)、滋賀県14人(小学生3、中学生5、高校生6)の計20人(前年度19人)に贈呈しました。京都府と京都市は府の交通遺児奨学金受給者を対象とし、滋賀県は県内の交通遺児が入会している公益財団法人おりづる会を通じて贈りました。

＝事業費15万4098円、執行率91.2%／予算16万9000円

4 子育て応援事業

(1) 京都新聞子育て仲間を応援 (7月、助成先30~32号)

子育て中のお母さん、お父さんの団体や支援団体に一律2万円を助成しています。小規模なグループ、サークルにも門戸を開いている、他に例のない事業です。当年度は、86団体(前年度110団体)から申請があり、活動内容や実績を審査して、82団体(京都府37団体、京都市12団体、滋賀県33団体)に総額164万円(同91団体、182万円)を助成しました。子育ての交流会や勉強会、季節の行事などに活用されました。

＝事業費169万5675円、執行率91.7%／予算185万円

(2) 京都新聞子育て事業助成 (7月、助成先32号)

子育て団体や子育て支援団体が実施する事業に、15万円を上限に助成しています。当年度は24件(前年度19件)の申請があり、13件(京都府3件、京都市4件、滋賀県6件)に総額83万5000円(同14件、82万円)を助成しました。お絵かき会やお箏と絵本の読み聞かせの会、子育て講演会、人形劇、児童養護施設やフリースクールの子どもを対象とした野外体験、シャボン玉ショーなどの事業に活用されました。

＝事業費83万7100円、執行率98.5%／予算85万円

5 福祉活動支援事業

京都新聞福祉活動支援（2024年2～3月、助成先33～35社）

京都府、滋賀県の福祉団体を対象に、運営と設備整備に幅広く助成する事業です。事業団設立以来、名称は変化しているものの毎年実施してきました。「工賃増へ向けての取り組み助成」と同時募集して、経済活動への支援申請を工賃増助成に一本化、それぞれの助成対象を明確にしています。当年度の申請は、運営部門に29件、設備部門に15件の計44件（前年度27件）あり、2月14日（水）に選考委員会（委員名簿38社）を開いて、運営23件（京都府6件、京都市14件、滋賀県3件）、設備10件（京都府2件、京都市6件、滋賀県2件）の計33件に総額500万円（同24件、498万円）を助成することを決めました。3月26日（火）に京都新聞ビル会議室で贈呈式を行いました。運営部門は、難病支援団体、ひきこもりの若者を支援するグループなどに、設備部門は、視覚障害者向けに文字を音訳し編集するためのパソコン購入や障害者施設利用者の送迎用車両購入費の一部などを支援しました。

＝事業費506万208円、執行率99.8％／予算507万1000円

6 奨学金支給事業

「京都新聞愛の奨学金」贈呈（4～7月、申請者・支給者数38社）

当事業団設立の1965年から継続して実施している重点的事業の一つです。京都府、滋賀県に生活拠点を置く高校生や大学生、専門学校生らを対象に返済不要の奨学金を支給しています。支給額は、高校生に年額9万円、大学生・専門学校生に同18万円、児童養護施設全高校生に奨学激励金3万円で、公募の一般の部と交通遺児の部、公立高校推薦の定時制・通信制高校生の部、児童養護施設高校生の4部門を実施しています。コロナ禍の影響を含め、さまざまな事情で学費の捻出が困難な向学心のある高校生、大学生・専門学校生らを対象に「愛の奨学金」の申請を受け付け、一般の部には高校生182人、大学生・専門学校生238人の計420人（前年度507人）、交通遺児の部には高校生4人、大学生6人の計10人（同11人）から申請がありました。選考委員会（委員名簿38社）を6月13日（火）に開き、一般の部で228人（高校生100、大学生・専門学校生128）、交通遺児の部10人（高校生4、大学生6）への支給を決めました。定時制・通信制高校生の部の11人と児童養護施設全高校生158人（一般の部の奨学生除く）を含めると、総計407人に3921万円（同429人、4131万円）を贈呈することになりました。一般、交通遺児、定時制・通信制高校生の3部門の贈呈式を7月8日（土）に京都新聞文化ホールで2回に分けて行い、本人に奨学金を直接手渡しました。児童養護施設高校生への奨学激励金は、7月19日（水）に京都新聞ビル会議室で施設代表者らに託して、施設ごとに贈呈していただきました。

＝事業費3926万7848円、執行率95.5％／予算4113万1000円

7 福祉啓発活動事業

（1）京都新聞「福祉のページ」編集（通年）

京都新聞を母体とする当事業団にとって、新聞紙面を通じた福祉啓発や福祉情報の提供は根幹事業の一つです。当年度も京都新聞「福祉のページ」（原則月曜日付朝刊）の制作

に力を入れました。コラム「暖流」では、弁護士の尾藤廣喜さん、精神科医の高木俊介さん、真宗大谷派僧侶の川村妙慶さんら多彩な7人の執筆陣に、地域福祉の課題や論点などを多角的に掘り下げてもらいました。また、福祉の担い手に聞く「わたしの現場」や地域福祉の広がりを紹介する「広がる一地域の輪」、事業団活動の報告「ともに生きる」などを京都新聞OB記者の取材、執筆で週替わりに掲載しました。毎週の「ふれあい広場」では、京都、滋賀の福祉イベントや交流会などの情報を提供しました。

＝事業費370万3555円、執行率93.5%／予算396万3000円

(2) ホームページ「ふれあい福祉—京都・滋賀」制作（通年）

インターネットで京都新聞「福祉のページ」と連動させながら、当事業団の活動や助成事業をタイムリーに紹介しています。奨学金や助成事業の申請用紙をダウンロードできるようにしており、利用者の利便性向上と郵送料などの経費節減に活用しています。当年度の年間アクセス数は390万9187ページビュー(前年度225万8163ページビュー)でした。より一層の充実を図ります。

＝事業費127万6000円、執行率99.7%／予算128万円

(3) 「京都新聞福祉賞」「京都新聞福祉奨励賞」贈呈（9月～2024年1月）

京都府、滋賀県で地域福祉の向上に著しい功績のあった個人または団体に「京都新聞福祉賞」、今後の活動が期待できる活動歴が浅い、または若い世代の個人や団体に「京都新聞福祉奨励賞」を贈り顕彰しました。両府県内の福祉団体などに推薦を募ったところ、福祉賞に20件、福祉奨励賞に10件の推薦が寄せられました。選考委員会（委員名簿38名）を12月13日（水）に開き、福祉賞に2件（1個人1団体）、福祉奨励賞に3件（3団体）の贈呈を決めました。福祉賞は、障害のある人や非行少年らの就労と自立支援に尽力したNPO法人ENDEAVOR EVOLUTION理事長の松浦一樹さん（55歳）＝京都市南区＝と、薬物やアルコール依存症、摂食障害などに苦しむ女性のための支援活動を展開する「NPO法人リバティエー・ウィメンズハウス・おりーぶ」＝滋賀県大津市＝、福祉奨励賞が、同じ経験や悩みを抱えた人たちが、不登校児のきょうだいを支援する「こころ停留所」＝京都市右京区＝、就学前の外国籍の子どもたちのために、日本語教室を開催する「りんぐえっじ」＝京都府八幡市＝、障害の有無に関わらず、多様な子どもたちが参加する合唱隊で、演奏を通じて活躍する「ホワイトハンドコーラスNIPPON京都チーム」＝京都市上京区＝で、贈呈式を2024年1月31日（水）に京都新聞文化ホールで行い、大西祐資理事長から表彰状と副賞（福祉賞＝個人20万円、団体30万円、福祉奨励賞＝10万円）を贈りました。

＝事業費112万7290円、執行率100.7%／予算112万円

(4) 募金啓発事業（通年）

当事業団の活動や寄付金の使途、奨学生の感謝の言葉などを紹介した資料を作成し、郵送するなどして理解と協力を求めています。当年度は、バックパネル（イージーウォール）を制作し、寄付金の受け取りや助成事業の贈呈式などさまざまな場面で活用し、紙面掲載などを通じて当事業団の認知度を高める広報ツールとして有効活用しました。事業費の大半は、募金の呼び掛けに関連する印刷費で、「歳末ふれあい募金」用の新聞折り込みチラシ32万枚や郵送用チラシ1万4000枚、金融機関に配置する振込用紙6000枚、「誕生

日おめでとうコーナー」の案内ハガキ8000枚などの145万1131円、通信運搬費63万2509円が支出経費の主な内容です。

＝事業費249万311円、執行率99.6%／予算250万円

8 ボランティア活動支援事業

京都新聞福祉ボランティアグループ「TAGW」活動（通年）

当事業団のボランティアグループ「TAGW（タッグ）」を育成し、活動を支援しています。当年度は、9月9日（土）～10日（日）の「みんなで海釣り－障害のある人の体験講座」では、障害のある参加者の介助や支援、10月1日（日）の「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」や12月16日（土）の「ともに生きるフォーラム」、2024年1月27日（土）の「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀」、28日（日）の「京都手話フェスティバル」、2月18日（日）のシンポジウム「障害のある人の就労支援」では、会場準備や参加者の受け付け、誘導などの運営補助を行いました。当年度末の登録者は10人。

＝事業費1万600円、執行率10.6%／予算10万円

9 その他の福祉事業

（1） 滋賀での事業「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀」

（2024年1月27日、守山市民ホール・滋賀県守山市）

子どもたちの健やかな成長を願う「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀」を4年ぶりに開催しました。1月27日（土）に「影絵人形劇団むむのこ」によるスクリーンを使った影絵あそびや光る影絵を上演、児童養護施設や障害児のデイサービスの子どもたち、一般の親子500人を招待し、交流を深めてもらいました。

＝事業費56万7085円、執行率87.8%／予算64万6000円

（2） 後援・後援助成事業（通年、助成先36～37社）

福祉関連の催しやイベントなどを支援する事業で、当事業団の名義使用を認める「後援」と10万円を上限に助成する「後援助成」を行っています。当年度の「後援」申請は60件（前年度54件）あり、申請のあった全件を認めました。「後援助成」申請は61件（同50件）あり、そのうち56件に総額146万5000円（同38件、103万5000円）を助成しました。残る5件のうち4件は名義後援とし、1件は認定しませんでした。当年度の助成は、障害者団体が実施する講演会やスポーツ大会、ひとり親家庭の交流事業などでした。

＝事業費147万5174円、執行率105.4%／予算140万円

（3） 「ともに生きる」事業「ともに生きる」フォーラム

（12月16日、京都新聞文化ホール・中京区）

当事業団設立50周年を記念して始めたフォーラムで、メインテーマである「ともに生きる」を事業名に、一人一人の命を大切に、みんなが助け合って生きる社会について考える機会にと、京都新聞「福祉のページ」のコラム執筆者らを講師に迎えて開催しています。当年度は12月16日（土）に開催しました。前半は「遺贈」による寄付への興味・関心を喚起するために当事業団の提携先の三井住友信託銀行京都支店の土谷紀久氏に「自分の生きた証を社会貢献に～遺贈による寄付のメリット・留意点と具体例～」について解説をい

ただき、後半は平等院住職の神居文彰氏による「命の尊さ・共生」と題しての講演をお楽しみいただきました。当日は約100人の参加があり、閉会后参加者がお帰りの際に、当事業団が助成事業で支援した障害者支援事業所の取り組みを応援するために、障害のある人たちが作ったお菓子を配りました。

＝事業費19万8624円、執行率49.7%／予算40万円

(4) 災害見舞金・救援金

災害救援金は10の⑥災害救援寄付金の項と重複するため省略します。

災害見舞金は「能登半島地震救援金」第1次分に見舞金30万円を加えて届けました。

＝（災害救援金）事業費1億8673万8427円、執行率18673.8%／予算100万円

＝（災害見舞金）事業費30万円、執行率100%／予算30万円

(5) 経済環境急変時緊急支援

経済不況など経済的な環境の急変時に福祉施設や授産施設などの運営を維持するために助成します。当年度は該当事案がなく執行しませんでした。

＝事業費0円、執行率0%／予算30万円

10 チャリティー事業

京都新聞チャリティー美術作品展（8月～2024年1月）

7の③京都新聞チャリティー美術作品展の項と重複するため省略します。

＝事業費1709万853円、執行率92.4%／予算1850万円

以上

2023年度事業報告の附属明細書

2023年度「工賃増へ向けての取り組み助成」助成団体一覧

(単位：円)

No.	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人自立支援センター いかるがの郷 いかるがの郷	京都府 綾部市	【設備整備費】 鷹の爪とうがらしの乾燥作業の効率化と商品の品質向上のための多目的乾燥機の購入費	110,000
2	NPO法人城陽市の精神保健福祉をすすめる会 野の花 ワークショップ野の花	城陽市	【商品改良・新商品の開発、販売促進】 オリジナルの自主製品に刺繍を施すことで付加価値をつけるための刺繍ミシとソワトの購入費	230,000
3	一般社団法人暮らしランプ 暮らしランプ・なかの邸	長岡京市	【商品改良、設備整備費】 シーラー一式を用いたドリップパックのコーヒーが好評のため製造を倍増するための脱気、ガス充填シーラー一式購入費	370,000
4	有限会社ライフ・アシスト アシストセンターえーる	京田辺市	【新商品の開発】 災害備蓄用の「アルファ化米のおかゆ」を使った新商品のお菓子「琥珀糖」の製作のため電気乾燥機の購入費	120,000
5	NPO法人プラッツ おーぶんせさみ	精華町	【設備整備費】 農福連携として唐辛子栽培。草刈りの負担を軽減し、収穫を増やすための草刈機の購入費	180,000
6	NPO法人Salut 就労継続支援B型事業所 サリュ	京都市 上京区	【新商品の開発・販売促進】 七宝焼きの技術を生かした新商品(陶器ピアス、イヤリング)の開発のための電気炉や釉薬などの材料費	190,000
7	NPO法人SEEDきょうと プティパ	下京区	【商品改良・新商品の開発・販売促進・品質向上の研修・指導料】既存のアクセサリ商品の品質向上や新商品開発、販路拡大の講習費や印刷費	120,000
8	社会福祉法人成望館 障がい福祉サービス事業所 成望館	南区	【商品改良・新商品の開発・設備整備費】 マール染めした衣類を高温で乾燥させるための作業に使用する洗濯機と衣類乾燥機の購入費	100,000
9	NPO法人京都コリアン生活 センターエルファ エルファ共同作業所		【設備整備費】 オリジナルクッキーの生産性を高めるために最新のフードプロセッサ機器の導入のための購入費	50,000
10	社会福祉法人修光学園 飛鳥井ワークセンター 京都市飛鳥井学園	左京区	【販売促進・設備整備費】 自家焙煎珈琲豆事業で生産の増産を図るための焙煎機と倉庫の購入費	190,000
11	NPO法人さまさま 楽々堂		【新商品の開発・設備整備費】 リサイクル品のラベル作成用(ラベルの多言語化およびインターネット販売用)のパソコン1台分の購入費	200,000
12	NPO法人加音 加音西京極作業所	右京区	【商品改良・新商品の開発・設備整備費】 廃棄された消防ホスをアップサイクルし、消防ホスを使った傘入れ、筆箱、バックなどを製作するためのミシ購入費	450,000

13	NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター ウッディ伊香立	滋賀県 大津市	【商品改良】 安全性の向上と精密性の向上のためのマルノコ盤の購入費	140,000
合 計				2,450,000

2023年度「京都新聞障害のある人のレクリエーション活動を応援」 助成団体一覧

(単位：円)

No.	団体名	地域、参加人数	内容	助成額
1	社会福祉法人京都西陣福祉会 西陣工房	京都市北区 19人	石川県羽咋市柴垣町の国立能登青少年交流の家で2泊3日の秋合宿。いかだ体験、カッター体験、アーチェリー、ソフトバレーボール、ウクレレ合奏練習など。	70,000
2	若者のパーソナル・リハビリ支援研究会	下京区 16人	奈良県吉野郡黒滝村のきららの森・赤岩に2泊3日で宿泊。アイスブレイクレクチャー、BBQ、ハイキング、体験のふりかえりなど。	50,000
3	山科タンタン おもちゃライブラリー	山科区 42人	大津市南小松の民宿白丁苑に1泊2日で宿泊。琵琶湖で湖水浴、お楽しみ会や夜店、キャンプファイヤー、花火など。2日目も湖水浴、スイカ割り、自由遊びなど。	70,000
4	ボランティアサークル 「プラネット」	西京区 17人	東近江市和南町のあいぎょうの森に1泊2日で宿泊。ボランティアとカレー作り、池田牧場まで散歩、川遊び、BBQ、キャンプファイヤーと花火。2日目は思い出工作、めんたいパークや琵琶湖博物館訪問。	60,000
5	空の鳥家族交流会	伏見区 152人	高島市安曇川町のびわ湖こどもの国と同志社リトリートセンターに1泊2日。障害のある子をもつ家族同士の交流を目的に湖水浴やカレー作り、川遊び、工作、スイカ割り、父母懇親会など。	100,000
6	認定NPO法人京都DARC	伏見区 21人	山梨県南都留郡山中湖村の山中湖フォレストコテージに2泊3日で宿泊。自然の中でのオリエンテーション、BBQ、ビンゴ大会、キャンプファイヤーなど。	60,000
7	社会福祉法人共生シンフォニー くれおカレッジ	滋賀県大津市 19人	東近江市和南町のあいぎょうの森に1泊2日で宿泊。生活訓練としてスケジュールを組み、BBQや花火の企画運営、調理など。	90,000
合 計				500,000

2023年度「高齢者配食サービス支援」贈呈団体一覧

No.	団体名	対象人数	地域
1	漁火会	77	京都府宮津市
2	給食ボランティア桜草	60	
3	西小倉地区社会福祉協議会	78	宇治市
4	大久保学区福祉委員会	32	
5	向日台地区社会福祉協議会	80	向日市
6	向日地区社会福祉協議会	70	
7	物集女地区社会福祉協議会	27	
8	鶏冠井地区社会福祉協議会	70	
9	森本地区社会福祉協議会	80	
10	配食サービス ぶどうの会	50	
11	八幡市社会福祉協議会	50	八幡市
12	給食調理ボランティアグループあじさい	180	京田辺市
13	木津川市社会福祉協議会加茂支所	115	木津川市
14	ほのぼの会	100	
15	調理ボランティア「プチトマト」	155	
16	たんぽぽ会	35	与謝野町
17	くらしの助け合いの会配食グループ	110	京都市北区
18	鳳徳ボランティアサークル	120	
19	待鳳社会福祉協議会(あけぼの)	70	
20	常盤野社会福祉協議会ボランティア部	300	右京区
21	京北社会福祉協議会	130	
22	嵐山東社会福祉協議会いきいきボランティア	70	西京区
23	大津市瀬田東学区社会福祉協議会ふれあい給食	91	滋賀県大津市
24	葛川学区社会福祉協議会	30	
25	大津市中央学区社会福祉協議会	51	
26	瀬田南学区社会福祉協議会ふれあい給食サービス委員会	151	
27	真野北学区社会福祉協議会	53	
28	瀬田学区ふれあい給食サービス事業実施委員会	100	
29	大津市晴嵐学区社会福祉協議会	105	
30	給食ボランティア「キャロット」	11	栗東市
31	八日市地区社会福祉協議会 給食ボランティア	115	東近江市
32	平田地区社会福祉協議会	10	
33	愛東地区社会福祉協議会	35	
34	御園地区社会福祉協議会	50	
	合 計		2,861人分

2023年度「高齢者へのプレゼント」介助用車いす贈呈 団体一覧

No.	特別養護老人ホーム名	地域	内容
1	YMBT	京都府八幡市	ティルト・リクライニング介助型1台
2	洛和ヴィラ天王山	大山崎町	ティルト・リクライニング介助型1台
3	ライトハウス朱雀	京都市中京区	ティルト・リクライニング介助型1台
4	はやま	伏見区	ティルト・リクライニング介助型1台
5	深草しみずの里		ティルト・リクライニング介助型1台
6	千松の郷II番館	滋賀県彦根市	ティルト・リクライニング介助型1台
7	カナリヤの家大門	守山市	ティルト・リクライニング介助型1台
8	スマイル	米原市	ティルト・リクライニング介助型1台
合 計			8台

2023年度在宅福祉サービス支援

「ホームヘルプサービス活動に関する備品助成」 助成団体一覧

(単位：円)

No.	団体名	地域	内容	助成額
1	社会福祉法人福知山シルバー ニコニコハウス ヘルパーステーション	京都府 福知山市	血圧計3台	56,100
2	社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会	舞鶴市	非接触型体温計10台	55,000
3	社会福祉法人安寿会 ヘルパーステーション安寿		プラスチックエプロン 袖付1ケース、袖なし7ケース	55,000
4	社会福祉法人ふきのとう ふきのとう訪問介護事業所 あやべ	綾部市	入浴介護エプロン6枚、血圧計5台	53,240
5	天橋訪問介護事業所	宮津市	電子体温計6台、非接触型体温計6台、 スライドシート6枚	99,330
6	社会福祉法人向日市社会福祉 協議会 ホームヘルプセンター	向日市	消毒液1セット、使い捨て手袋10ケース	58,850
7	NPO法人ネットワーク すてっぷ訪問介護事業所	長岡京市	血圧計2台、パルスフロー2台、 電子体温計10本	36,612
8	総合老人福祉施設はごろも苑 ホームヘルプセンター	京丹後市	マスク100箱、プラスチック手袋M20箱と L50箱	44,330

9	社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会久美浜支所	京丹後市	体温計17本、メディカルキャップ1箱	49,720
10	ほほえみ八木訪問介護事業所	南丹市	プラスチック手袋80箱	52,800
11	ほほえみかぐら訪問介護事業所		マスク2ケース、けんおんくん5本	56,672
12	社会福祉法人芳梅会 あすてる訪問介護ステーション	木津川市	血圧計2台	17,778
13	社会福祉法人精華町社会福祉協議会 在宅介護課訪問介護係	精華町	血圧計1台、非接触型体温計5台、スライディングシート1枚、ビニール手袋3梱	91,498
14	ホームヘルプ神の園		移乗シート10枚、バイキングボード1枚、介助プロテクター1点	78,980
15	社会福祉法人京丹波町社会福祉協議会 ヘルパーセンターほほえみ	京丹波町	シンガープラスチック手袋60箱、手指消毒剤12本、マスク50箱	46,490
16	NPO法人クローバー・サービス		プラスチック手袋30箱、マスク20箱、ヒビスコール4ℓ1本	79,827
17	社会福祉法人与謝郡福祉会 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション	与謝野町	使い捨てエプロン10ケース、マスク1ケース	62,040
18	社会福祉法人丹後福祉応援団 訪問介護事業所		非接触型体温計2台、圧計腕帯1個、トランスファーシート7枚	54,406
19	NPO法人洛西共助会 ヘルパーステーション洛らく	京都市 西京区	移乗ボード1台、トランスファーボード1台、電子ボード1台、血圧計1台、プラスチックグローブ50箱	75,594
20	NPO法人燦さん夢くらぶ	滋賀県 長浜市	プラスチック手袋100箱、マスク50箱、消毒用エタノール10本、ハンドソープ業務用2本	79,340
21	社会福祉法人慈恵会 ゆいの里訪問介護ステーション	守山市	移座えもんシートM2枚、移座えもんシートL2枚、イージーグライド1枚、スライディンググローブ2組、血圧計1台	67,320
22	社会福祉法人栗東市社会福祉協議会 栗東市訪問介護事業所	栗東市	体温計2本、非接触型体温計2台、サージカルマスク20箱	51,260
23	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会 ヘルパーステーションつちやま	甲賀市	電子体温計5本、入浴介助エプロンL4枚、入浴介助エプロンF3枚、移座えもんシートL4枚、移座えもんシートS4枚、血圧計1台	68,420
合 計				1,390,607

2023年度「児童養護施設レクリエーション」助成先一覧

(単位：円)

No.	施設名	地域	参加児童人数	内容（行先や活動内容）	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	32	ラウンドワン（スポッチャ）、友愛の丘宿泊（パン作り体験）、三田アウトレット・イオンモール、吉本新喜劇鑑賞とるり溪温泉など4グループで実施。	106,400
2	舞鶴双葉寮		32	全員で姫路セントラルパーク訪問。現地で遊具遊びや動物園など、幼児から高校生までそれぞれのユニットに分かれて行動。	106,400
3	青葉学園	亀岡市	26	棟内でクリスマス会、湯の花温泉、外食と金魚・生き物ミュージアム、2棟は外食でクリスマス会など5グループで実施。	90,200
4	てらす峰夢	京丹後市	20	2グループはアミューズメント施設、福知山市児童科学館、映画鑑賞とカラオケ、ボウリングとショッピングなど5グループで実施。	74,000
5	京都大和の家	精華町	49	大阪観光（通天閣）、ラウンドワンと温泉、アドベンチャーワールド、ネスタリゾート神戸&アンパンマンミュージアム、紀伊白浜温泉、ワールド牧場など6グループで実施。	152,300
6	京都聖嬰会	京都市 北区	37	ラウンドワン（スポッチャ）、Bb 箕面船場店（屋内プレイセンター）、滋賀県立琵琶湖博物館と温泉、外食（2グループ）、ショッピングなど6グループで実施。	119,900
7	和敬学園	上京区	35	ユニバーサルスタジオジャパン（年齢別）、ラウンドワン（ボウリング・スポッチャ）、ジブリパーク、映画鑑賞など5グループで実施。	114,500
8	迦陵園	左京区	32	ハロウィンパーティー（10/29実施）。南米のお祭りで使われるお菓子を詰めたピニャータ割り（くす玉）をしたり、仮装で町内ウォークラリーを実施。	106,400
9	平安養育院	東山区	42	レゴランド、奈良観光、ラウンドワン、神戸観光、ネスタリゾート神戸、広島観光（広島平和記念資料館）など6グループで実施。	133,400
10	つばさ園	西京区	49	グランスノー奥伊吹で雪遊びやスキー（年齢別）、アグリパーク竜王いちご狩り、こんぜの里キャンプ、てんとう虫パーク、六甲山アスレチックパーク、ラウンドワンなど8グループで実施。	152,300
11	積慶園		56	ユニバーサルスタジオジャパン（ホーム別）、五月山動物園と大江戸温泉、東条湖おもちゃ王国、関西サイクルスポーツセンター、湯快リゾートなど8グループで実施。	171,200
12	平安徳義会養護園		42	ニフレで魚の観察や生き物のふれあいゾーンを体験（幼児）、ボウリング（小学生～高校生で9班に分かれて実施）。	133,400

13	桃山学園	伏見区	25	クリスマスの会（12/24実施）、おもちつき会（12/28実施）、年始にお寿司の夕食（1/2実施）を全員参加で実施。	87,500
14	湘南学園	滋賀県 大津市	26	東映太秦映画村、京都市動物園、京都市鉄道博物館、キッザニア甲子園、ニフレル、甲子園スタジアムツアー、京都散策、紅葉狩り、映画鑑賞、ボウリング、アスレチック、スケートなど少人数で実施。	90,200
15	小鳩の家		42	あがりゃんせ、大阪観光（通天閣）、大津温泉びわこ座、京都観光、漫画喫茶、映画、京都水族館、京都市動物園、陶芸体験、スイーツパラダイス、カラオケ、スポッチャ、映画など少人数で実施。	133,400
16	守山学園	守山市	30	妹背の里バンガロー宿泊、ブルーメの丘芝滑り・昼食バイキング、大見いこいの広場バンガロー宿泊（2ホーム合同実施）、京都観光（和菓子作り体験）、ラウンドワンなどホーム別で実施。	101,000
17	鹿深の家	甲賀市	36	京都観光、映画鑑賞、奈良観光と健康ランド、もくもくファーム、ラウンドワン（スポッチャ）。動物園、カフェ巡り、カラオケ、ショッピング、夕食など少人数で実施。	117,200
合 計			611	合 計	1,989,700

2023年度「児童養護施設生徒卒業お祝い金」贈呈先一覧

(単位：円)

No.	施設名	地域	中学卒業人数	高校卒業人数	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	1	5	220,000
2	舞鶴双葉寮		0	1	40,000
3	青葉学園	亀岡市	0	1	40,000
4	てらす峰夢	京丹後市	0	0	0
5	京都大和の家	精華町	1	6	260,000
6	京都聖嬰会	京都市 北区	0	4	160,000
7	和敬学園	上京区	0	5	200,000
8	迦陵園	左京区	0	2	80,000
9	平安養育院	東山区	0	2	80,000

10	つばさ園		0	4	160,000
11	積慶園	西京区	0	6	240,000
12	平安徳義会養護園		0	3	120,000
13	桃山学園	伏見区	0	1	40,000
14	湘南学園	滋賀県 大津市	0	4	160,000
15	小鳩の家		0	3	120,000
16	守山学園	守山市	0	2	80,000
17	鹿深の家	甲賀市	0	3	120,000
合 計			2	52	2,120,000

※No.4の1施設は該当者なし

2023年度 「京都新聞子育て仲間を応援」助成団体一覧

No.	団体名	地域
1	子育てサークル げんきっこ	京都府
2	石原子育てサロン 親子わいわい広場	福知山市
3	宇治市木幡地区民生児童委員協議会ピンポンは〜い	宇治市
4	御蔵山どんどん文庫	
5	ポヨポヨキッズ	
6	どんぐりっこ	
7	いちばん星	宮津市
8	子育てサロン ひかり	
9	吉津子育てサロン「ちえのわ」	
10	ママ工房J40	城陽市
11	子育てサークル ティガー	向日市
12	子育て洛西口	
13	みんなのひろば いろどり	
14	長岡いっばいあそぼう会	長岡京市
15	DONALD	京田辺市
16	京田辺子育てママ応援し隊はいはい	
17	やましろ子育て親育ちサポートネットワーク	
18	育児サークル P o o h	
19	子育てサークル「ちびミッフィー」	
20	風の子文庫	
21	京田辺子育て支援者ネットワーク「おててつないで」	南丹市
22	読みかたりユニット おおきな木	
23	子育てサークル どんぐり	

24	子育てサークル竹の子広場	井手町
25	子育てサークル さんさんかい	
26	木津ほのぼの助産師の会	木津川市
27	桜が丘一丁目育児サークル さくらっこ	精華町
28	桜が丘四丁目育児サークル 子育て広場	
29	どろんこクラブ	
30	育児支援サークル あゆみちゃん	
31	光台八丁目育児サークル8(はっち)	
32	光台九丁目育児サークル 9ぴーちゃん	
33	精華台三丁目育児サークル かたつむり	
34	精華台五丁目育児サークル ごきげんよう	
35	精華台四丁目育児サークル すとろべりい	与謝野町
36	南区育児サークル「ミックスジュース」	
37	ゆるり会	与謝野町
38	楽只学区子育てサロンラッコひろば	京都市北区
39	わくわくほっぺ	下京区
40	親子サロン「ぎしゃぼっぼ」	
41	読み聞かせボランティアわあのなかま	山科区
42	だんごやましなくらぶ	
43	梅津・北梅津地域子育てサロン「ちょっと来てみませんか」	右京区
44	わたぼうし文庫	西京区
45	オープンスペース 祐の風	
46	ゆらんこおもちゃライブラリー	伏見区
47	小栗栖むりよう塾	
48	子育てサークルたんぼぼひろば「プチたんぼぼ」	伏見区
49	t e t o t e t o	滋賀県 大津市
50	びびっこ	
51	あいあい文庫	長浜市
52	子育てサークル「ちびーず」	
53	kāsi kāsi	近江八幡市
54	スマイルキッズ	
55	まるえこ	草津市
56	にこにこひろば	
57	おやこダンスカンパニー チチカカコ	
58	EママSalon	
59	つながる	
60	草津てるてるクラブ・タッチ	
61	にっこりクラブ	
62	ママとキッズのコーラス隊COLORS	
63	子育てサロン「コスモスの会」	
64	たすけ愛隊 「ママの手」	

65	m i m i m a m a	栗東市
66	m a m a l i n k s a l o n	野洲市
67	子育て支援ボランティア「すずめ」	湖南市
68	子育て支援サークル のだんちゅ	甲賀市
69	子育てサークル MANI MANI KIDS	米原市
70	MANI MANI	
71	おにぎりサークル	
72	伊吹仲良しかい	
73	ちびパーク	
74	子育て支援サークル「ぽっぷ八日市」	東近江市
75	南部コミュニティセンター 遊びにおいでよ「なんぶっ子」	
76	御園ちびっ子サークル	
77	市辺キッズ	
78	紙芝居サークルてんとうむし	
79	おはなしマーガレット	
80	Happy Landサークル	
81	ひまわりおはなし会	
82	さくらっこ	日野町
助成額は1団体あたり20,000円、合計82件に1,640,000円助成		

2023年度 「京都新聞子育て事業助成」助成団体一覧

(単位：円)

No.	団体名	地域	助成額
1	NPO法人子育てを楽しむ会	京都府宇治市	80,000
2	f a m f a r m	京田辺市	50,000
3	絵本サークルきいろいばけつ	京丹波町	100,000
4	めいりん de おえかき	京都市中京区	15,000
5	キッズファーム in 京都大原	左京区	40,000
6	ことえほん	山科区	100,000
7	NPO法人京都子育てネットワーク	伏見区	50,000
8	長浜おやこ劇場	滋賀県長浜市	80,000
9	高時地区地域づくり協議会こども部会		60,000
10	BELL	草津市	120,000
11	テラスONE	高島市	90,000
12	ルピナスさんの会	東近江市	20,000
13	必佐地区社会福祉協議会必佐子育てひろば	日野町	30,000
合 計			835,000

2023年度「京都新聞福祉活動支援」助成団体一覧

【運営助成】

(単位：円)

No.	団体名	地域	内容	助成額
1	『くらしの応援隊』 ボランティアの会	京都府 長岡京市	長岡京市社協からの依頼でスポーツ大会やイベントの手伝い、花壇の水やり、美化活動などのボランティアを無償で行うための交通費の片道補助や活動費。	100,000
2	NPO法人パーキンソン病支援センター	八幡市	パーキンソン病の人のためのサロン交流会や新たにPD（パーキンソン病）ファミリー交流会などを行うためなどの活動費。	130,000
3	のびのび倶楽部	久御山町	知的・発達障害のある人を中心とした音楽サークル活動で歌唱、楽器演奏を指導する音楽療法士と療法動作、手話、体操などを指導する運動療法士の講師料。	100,000
4	NPO法人京よりそい	宇治市	心の悩み相談を軸として傾聴を無償で行う電話相談やよりそいカフェ、よりそいマルシェなどのイベントや環境保護として清掃や啓発活動などを行うための活動費。	150,000
5	社会福祉法人京丹波町社会福祉協議会	京丹波町	ひきこもり状態にある人とその家族の居場所「にじの家」の取り組みで、廃材を利用した工作を行う制作活動の講師料と作品展開催のための活動費。	120,000
6	全国ギャンブル依存症家族の会京都	京都府内	ギャンブル依存症とそれにより起こる問題の支援、学習会、相談会、啓発活動で、若い世代の子連れ参加のための保育費などの活動費。	100,000
7	NPO法人 障害者芸術推進研究機構	京都市 北区	障害のある人が作品を制作するためのアトリエ活動、作品展示事業、作品アーカイブ保存および活用事業などの活動費。	150,000
8	NPO法人お客様が いらっしやいました。	下京区	生理用品を経済的な理由で入手できない生理の貧困の解消に向けた支援、生理の知識発信などの活動費。	200,000
9	京都府網膜色素変性症協会	中京区	視覚障害のある人を対象にしたミニ交流会を京都市内及び府北部と南部で行う交通費や交流事業などの活動費。	150,000
10	子ども会・少年団を育てる左京センター	左京区	子ども会・少年団づくりを保護者や青年指導員とともに進める左京の5つの少年団の指導員育成などの活動費。	100,000
11	ハンド&ネイルケアボランティアチームガンチャー		京都市内の福祉施設に福祉ネイリストらが訪問し、ハンド&ネイルケアを無償で実施。ネイル用品などの購入費の一部。	150,000
12	NPO法人 i-care kids 京都		災害時のBCP（事業継続計画）を医療的ケア児受け入れ施設が協働するための勉強会の活動費。	200,000
13	内部被曝から子どもを守る会・関西		福島原発事故で、京都府内に避難する検診補助の対象にあたらない18歳以下の人で甲状腺エコーなどの検診を希望する人への検診費。	70,000
14	NPO法人助けあいグループ りぼん	東山区	介護保険制度外の人への支援、高齢者の生活援助活動を行うグループの電話受付当番ボランティアの交通費の一部。	100,000

15	NPO法人 チャイルドライン京都	山科区	子ども電話相談の活動を子どもたちに知ってもらうために配布しているチャイルドラインカード制作活動費。	250,000
16	きょうと WAKUWAKU座	右京区	精神障害のある人を対象にした就労継続支援B型事業所で行う表現活動に使用する紙芝居のリニューアルや道具の購入や公演のための活動費。	150,000
17	京都YMCA長岡こおろぎ	西京区	視覚障害のある人を対象にした朗読ボランティアグループの活動で音訳デジターCD、テープの制作活動費。	50,000
18	ジョイント西京 視覚障害者ボランティア		西京区在住の視覚障害のある人の外出支援や地域のイベント会場、小中学校への福祉授業などを行う活動費。	50,000
19	西京少年補導委員会		少年の非行防止、健全育成活動で生徒・児童絵画展の会場使用料や監視パトロールのための備品購入などの活動費。	100,000
20	NPO法人東九条 地域活性化センター	南区	外国にルーツをもつ子どもたちと地域の子どもの放課後の学習支援や居場所提供、カレーを食べる会、社会的弱者への物品配布などの活動費。	300,000
21	音と花と人と	滋賀県 大津市	こころの障害や知的障害、発達障害に対する啓発活動と当事者や仲間の交流の場としてハンドベルを使った音楽活動や季節の植物に触れる体験を行う活動費。	200,000
22	子ども食堂 スマイルシード	大津市	アレルギー対応の子ども食堂で、管理栄養士から外食時の注意点などの講義を聞いた後に行うピュッフェイベントの食材購入や啓発などの活動費。	150,000
23	若者自立支援ボランティア グループ 居場所の会 「レリーフ」	守山市	ひきこもりの若者の自立支援活動を行うための実習、農作業、体験活動、家族交流会などの活動費。	250,000
小 計 23団体				3,320,000

【設備助成】

(単位：円)

No.	団体名	地域	内容	助成額
1	朗読ライブボランティア 『拍子木の会』	京都府 長岡京市	【手ぶら拡声器パワギガS・4台分購入費】高齢者施設や地域の行事などに出向き、紙芝居など朗読ライブを行う。2015年に同助成で購入した手ぶら拡声器に不具合が生じ耐用年数に限界がきて使用できず、新しい機材にきりかえるための購入費。	100,000
2	NPO法人あしたばの家	八幡市	【畳、パーテーション2枚の購入費】精神障害者の就労継続支援B型事業所。板の間の部屋を畳敷きの部屋に改修し、利用者の落ち着くことができる静養室へ整備するための畳とパーテーションの購入費。	150,000
3	公益社団法人京都犯罪被害者 支援センター	京都市 上京区	【研修用パソコン1台購入費】犯罪や事故などの被害に遭われた方や、家族、遺族が被害から回復するために必要な支援を行う。ボランティア相談員の養成講座や定期研修会に使用する研修用パソコンの購入費。	200,000
4	公益財団法人京都YWCA		【キャビネット作業台購入費】社会的養護が必要な女性の自立援助のための事業を行う。援助事業「うららかふえ」のキッチン調理台が老朽化しており危険なため、安全な作業台の購入費。	150,000
5	一般社団法人京都手をつなぐ 育成会 山科工房	山科区	【軽自動車スズキ・エブリイ購入費の一部】知的障害を持つ人のための就労継続支援B型事業所。利用者の高齢化で月水金の週3回の送迎から毎日の送迎への変更に伴い、送迎に必要な車両を購入するための費用の一部。	400,000
6	洛西寮朗読ボランティアサークル	西京区	【パソコン1台、プレクストークレコーディングソフトウェア・プロ購入費】視覚に障害のある人に情報を「声」で伝えるボランティア活動を行う。パソコンの老朽化で修理もできないため、活動を行うためのパソコンとソフトウェアの購入費。	140,000
7	西京視覚障害者協会		【ティアック・カセットデッキ購入費】視覚に障害のある人に「声の情報誌・西山」制作・発行などを行う。機器が故障したため、録音活動を行うためのカセットデッキの購入費。	50,000
8	オープンスペース祐の風		【パソコン1台購入費】不登校やその傾向にある子どもたちと親の交流活動を行う。個人パソコンを利用していたが、セキュリティー面や利用者の個人情報管理などをスタッフで共有するために団体所有にきりかえるためのパソコン購入費。	150,000
9	NPO法人はた楽きの里 子ども食堂わいがやキッチン	滋賀県 大津市	【切り株撤去費用の一部（危険な箇所のみ）】富士見学区家庭を対象に、「子ども食堂」と「しゅくだいカフェ」を通して学習支援を行う。同法人建物裏手で無償貸与されている空き地の危険な切り株の撤去費用の一部。	200,000
10	今津ふくしの会	高島市	【玄関用あがりかまち用たちあつぷ購入費】今津地域の交流の場「より処」（高齢者や多世代が集うサロン）を運営。拠点民家の玄関の段差が高く、段差解消のためのあがりかまち用たちあつぷ（補助手すり・ステップ台）の購入費。	140,000
小 計 10団体				1,680,000
運営助成・設備助成 合 計 33団体				5,000,000

2023年度「後援助成」助成団体一覧

(単位：円)

No.	実施日	団体名	助成額
1	4月16日	公益社団法人京都市身体障害者団体連合会	20,000
2	4月22日	ふれあいネット京都	20,000
3	4月29日	公益財団法人関西盲導犬協会	20,000
4	5月14日-11月19日	社会福祉法人京都府母子寡婦福祉連合会（16支部分）	225,000
5	5月20日	一般社団法人滋賀県ろうあ協会	50,000
6	5月20日	長岡京市身体障がい者団体連合会	20,000
7	5月20日	NPO法人きょうと介護保険にかかわる会	20,000
8	5月20日	京都府児童福祉施設連絡協議会	20,000
9	6月10日	NPO法人京都ほっとはあとセンター市内ブロック	20,000
10	6月17日	宇治市障害者スポーツ大会実行委員会	30,000
11	6月18日	舞鶴市身体障害者団体連合会	20,000
12	6月24日	生涯学習支援グループWITH	10,000
13	7月13日	チーム オープン・セサミ	20,000
14	7月15日	公益財団法人おりづる会	20,000
15	7月23日、10月28日、2月11日	京都言友会	20,000
16	7月26日	相模原殺傷事件を考える実行委員会	20,000
17	7月30日-8月4日	かざぐるまの会	20,000
18	8月1日	NPO法人京都フォーライフ	20,000
19	9月1日	京都母子生活支援施設協議会	30,000
20	9月9日	京都府里親会	20,000
21	9月16日	京都府中途失聴・難聴者協会	15,000
22	10月1日-2日	NPO法人城陽市の精神保健福祉をすすめる会野の花	20,000
23	10月5日	NPO法人ソーシャルアクション・パートナーシップ	20,000
24	10月7日-8日	第25回登校拒否・不登校問題全国のつどいin京都実行委員会	30,000
25	10月15日	長岡京市身体障がい者団体連合会	20,000
26	10月21日	社会福祉法人京都視覚障害者支援センター	20,000
27	11月3日	社会福祉法人向陵会	20,000
28	11月5日	宇治市ボランティア活動センター	30,000
29	11月12日	わくわく^kyoto^	30,000
30	11月18日	NPO法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー	20,000
31	11月18日	社会福祉法人なづな学園すずしろ	20,000
32	11月19日	一般社団法人京都ボランティア協会	30,000
33	11月19日	一般社団法人京都障害者スポーツ振興会	20,000
34	11月23日	NPO法人リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ	20,000
35	11月25日	よりよい介護をつくる市民ネットワーク	20,000
36	11月26日	「ゆめパのじかん」上映会in京都実行委員会	20,000
37	11月26日	京都府児童福祉施設連絡協議会	20,000
38	11月26日	京都府障害者社会参加推進センター	30,000
39	12月2日	長岡京市障がい者児の人権を考える市民のひろば実行委員会	20,000
40	12月3日	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会	30,000

41	12月9日	みんなで楽しむコンサート実行委員会	30,000
42	12月10日	京都おもちゃライブラリー連絡協議会	10,000
43	12月10日	一般社団法人京都府聴覚障害者協会	30,000
44	12月10日	NPO法人彦根育成会	20,000
45	12月16日	公益財団法人おりづる会	20,000
46	12月23日-24日	共生のまち演劇プロジェクト実行委員会	30,000
47	1月13日	障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会	30,000
48	1月24日	一般社団法人京都府自閉症協会	20,000
49	1月27日	あい・らぶ・ふえあ実行委員会	20,000
50	2月10日	きょうされん京都支部	30,000
51	2月17日	NPO法人EAP京都心の健康支援センター	20,000
52	3月2日	京都府中途失聴・難聴者協会	15,000
53	3月6日	生きるを励ますアート臨床美術作品展	20,000
54	3月16日	だいがキャンドルネットワーク	20,000
55	3月17日	S K Y手話サークル	20,000
56	3月28日-4月11日	第57回白杖安全デー実行委員会	30,000
合 計			56件 1,465,000

※申請は61件、助成は56件、後援のみ4件、後援助成ともしない1件

2023年度「京都新聞愛の奨学金」申請者・支給者数

(単位・人)

部 門		2023年度 支給者数 (申請数)	2022年度 支給者数 (申請数)
一 般	高 校 生	100 (182)	99 (211)
	大学・専門学校生	128 (238)	136 (296)
	小 計	228 (420)	235 (507)
交通遺児	高 校 生	4 (4)	5 (5)
	大 学 生	6 (6)	6 (6)
	小 計	10 (10)	11 (11)
定時制・通信制	高 校 生	11 (11)	15 (15)
児童養護施設	高 校 生	158	168
総 計		407	429

2023年度 選考委員 (50音順)

【工賃増へ向けての取り組み助成】

植 木 力 氏 (委員長) 株式会社カスタネット 代表取締役社長
 出 口 龍 氏 NPO法人京都ほっとはあとセンター 事務局長
 宮 川 草 平 氏 滋賀県中小企業家同友会 理事 ユニバーサル委員長

【京都新聞福祉活動支援】

猪 熊 佳 子 氏 日本画家
 坂 田 徹 氏 (委員長) 社会福祉法人京都府社会福祉協議会 福祉部長
 高 橋 宏 和 氏 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 事務局次長
 田 中 聖 氏 社会福祉法人京都市社会福祉協議会
 京都市福祉ボランティアセンター 所長
 山 科 昌 子 氏 京都商工会議所女性会 理事

【京都新聞愛の奨学金】

大 藪 俊 志 氏 (委員長) 佛教大学 社会学部教授
 小 林 雅 代 氏 公益社団法人京都青年会議所 理事長
 村 井 琢 哉 氏 NPO法人山科醍醐こどものひろば 理事長

【京都新聞福祉賞・京都新聞福祉奨励賞】

川 村 妙 慶 氏 真宗大谷派僧侶
 小 山 隆 氏 (委員長) 同志社大学 社会学部教授
 城 貴 志 氏 NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター 理事長
 永 田 萌 氏 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館 館長
 森 田 美千代 氏 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会 副会長